

相次ぐ支援表明

パワハラ根絶 高まる機運

電波新聞支部組合ニュース第2号 2016年5月11日

平山哲雄ワンマン体制と闘う新聞通信合同ユニオン電波新聞支部では、組合ニュース創刊号の配布などを通じて、従業員の賛同と支援表明を続々と得ています。組合活動は始まったばかり。賛同の輪をさらに広げて、パワハラ行為の根絶や不当降格、残業代不払い是正など職場環境の改善に、皆で取り組んでいきましょう。

激励 想定上回る勢い

従業員の皆さんから寄せられた私たちの活動への反応は、質量ともに想定を上回る勢いで広がっています。あの怖い怖い平山社長の影がちらつく中で、すでに本社・支局を問わず、老若男女の幅広い従業員から賛同・支援表明の声を頂いています。

主なメッセージは「お2人の勇氣ある行動、敬服しております」「行動を起こすこと、なかなかできることではないと思います。できることがあれば協力します」「いろいろ大変でしょうが、画期的な取り組みに期待しています」「頑張ってください。応援します！」—など、活動を後押ししてくれる心強いものばかりです。

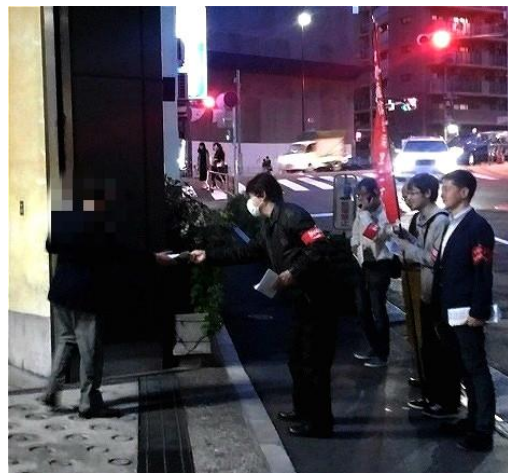
断固臨む第2回団交

4月19日に行われた第1回団交での要求事項の一つである、最新の就業規則の開示については、団交では一両日中の社員への開示を求めましたが、いまだ実行されていません。引き続き速やかな開示を求めるとともに、5月17日に行われる予定の第2回団交に

は断固とした態度で臨みます。次回も不誠実な対応が認められるようであれば、第三者機関へ申告します。

社前ビラ配り 幹部が妨害

4月末の組合ニュース創刊号配布に続いて、5月2日には電波新聞社春季社員大会の終了を待ち、東京本社前で平山社長の違法行為を正す目的でビラ配りを行いました。日本新聞労働組合連合（新聞労連）、全国専門紙誌労働組合共闘会議（専門紙共闘）からの応援も得て総勢10人で、帰途につく社員、



ビラを受け取る社員からは力強い応援メッセージも

2次会の会場へと急ぐ社員らに組合への加盟を呼びかけました。

前半はビラを受け取る社員から激励の言葉をかけられるシーンもあり、その好意的な反応に手応えを感じました。しかしその後、国際本部部長の長谷川正治氏が通りかかる社員たちにビラを受け取らないように訴えたのに続いて、ほろ酔い気分で現れた取締役の大橋太郎氏に至っては組合員2人に対して「仕事のできねえアホ」「バカ野郎」など暴言を連発。揚げ句の果てにはビラ配りをやめさせるため110番通報してしまいました。やがて到着した警官に大橋氏自身が事情聴取されたうえで私たち組合から引き離されたことにより、労働運動を妨害するという目的は達せませんでした。

大橋氏には、公権力をかさに着て「バカ野郎」の排除に躍起になるのではなく、私たちが団交でパワハラ中止のみならず、残業代不払いや不当賃下げなど6項目を要求していること自体を会社の抱える問題として真摯に受け止め、解決に努めるよう取締役としての責務を果たすことを強く求めます。



ビラ配りを排除しようと110番通報した大橋取締役から事情聴取する警察官

組合員になってください！

第1回団交の成果として、平山社長のパワハラ言動が以前より弱まったことが挙げられます。しかし、今回のビラ配りを通して、パワハラ行為は大橋取締役ら幹部にも蔓延していることが明らかになりました。パワハラとは何かということを全く理解しておらず、順法精神や問題解決意識のかけらも見られません。さらには、従業員の尊厳を極端に軽視しているという問題点も浮き彫りになった格好です。一方で、私たちの活動が多数の従業員の共感を得ていることも実感できました。

パワハラを根絶など会社に改善をより強く求めるために、従業員の皆さん一人一人のもう一步踏み込んだお力が電波新聞支部の強化に必要です。社長が怖いと思っている方は、第一歩として会社には皆さんが組合に加盟したことを通知しない「非公然」組合員になってください。会社に対して公然と活動するのは、交渉する委員長、副委員長、書記長です。私たちと仲間になって問題を解決していきましょう。

私用アドレスを教えてください！

私たちとのメール送受信は、会社の施設管理権を侵害しないように、仕事で使っている社用アドレスでなく、お持ちの私用アドレスをお願いします。お問い合わせやご意見は、支部委員長の山本淳(at_paleys@yahoo.co.jp)または支部書記長の川田茂生(shigeak927@gmail.com)までお願いします。

発行者：新聞労連／新聞通信合同ユニオン／電波新聞支部

電話：03-5842-2201／FAX：5842-2250
／E-mail：soudan@shinbunroren.or.jp